

トムトム通信

トムトムは
ハンディのある方とご家族のための
会員制のサービスセンターです。

第2号 99年12月発行 発行人：上杉桂子 TEL/FAX (0467)58-8335

10月5日 トムトムがリニューアル!

7月から立ち上げたパーソナルサービスセンター トムトムは、民間の木造平屋を拠点に、活動を開始しました。とっっても落ち着いた昔ながらのお家だったのですが、やはりバリアフリーの構造とは言い難く、大家さんの方のご都合もあって去る10月5日に引っ越しをしました。

場所はお隣、社会福祉法人「翔の会」の新しいグループホームの1Fです。もちろん3高(古い!)「キレイ・広い・使いやすい」と、3拍子そろった願ってもない場所をお借りすることができました。お陰様

で会員数はうなぎのぼり(?)に増え、新しい明るいお部屋で利用者の皆さんは、パートナーと遊んだり本を読んだりゲームをしたりと、思い思いの時間を過ごしています。

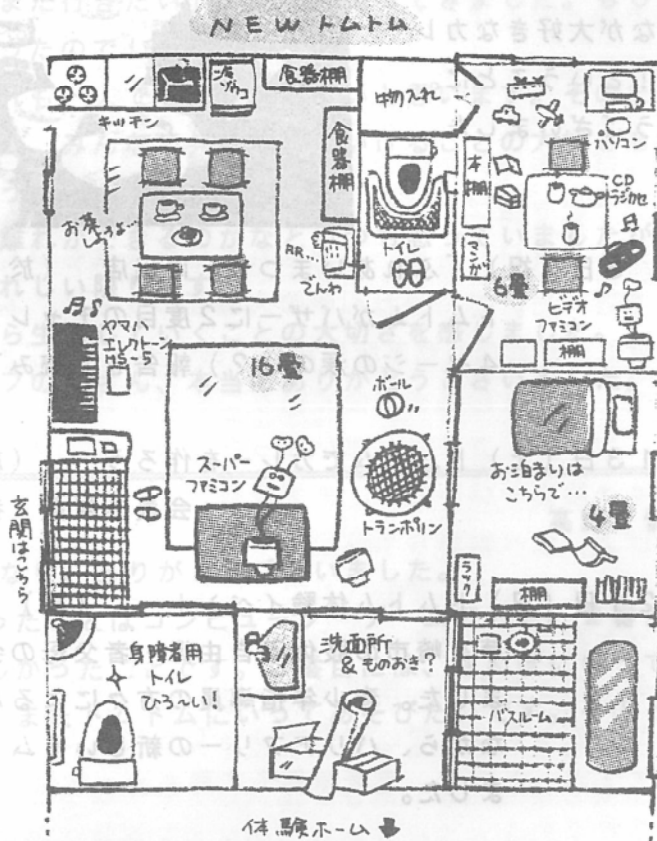
あなたも一度、
ニュー・トムトムを
ちょっと
のぞきに来ませんか?



・・・突然ですが!・・・

テレビをゆずっていただけませんか?

トムトムの利用者に大人気のテレビゲーム。でもテレビの台数が少なく調子の悪いものもあります。お宅に眠っているテレビはありませんか? 新品、中古は問いません。よろしくお願いします。



***秋以降の活動を振り返って**

★9月26日(日)川遊びに行こう!(於)丹沢湖周辺 参加 7名

★10月16日(土)からだ・おとで遊ぼう

(於)香川公民館 参加 3名



「翔の会」の松永さんをお呼びして、きれいな布や、楽器を使った遊びを楽しみ、心も体もリラックスしました。

「是非もう一度!」という声があり、2回目を検討中です。

★10月24日(日)新居お披露目「カレーライスパーティー」(於)トムトム

参加45名

米どころ新潟の黒黒茂子様より新米のコシヒカリをたくさん送っていただきました。それで新しいトムトムのお披露目にみんなが大好きなカレーライスを!ということに。ありがとうございました。



★11月 3日(祝)「ふれあいまつり」に出店 (於)茅ヶ崎中央公園

トムトムがバザーに2度目のチャレンジ! その結果は?

4ページの涙の(?)報告をお読み下さい。

★11月13日(土)トムトムでカレーを作ろう (於)トムトム

会員外対象 参加5名



★11月21日(日)トムトム体験イベント (於)トムトム 参加7名

茅ヶ崎市の肢体不自由児・者父母の会の皆さんを対象に行いました。青少年指導員の方々によるパネルシアター等も交えながら、バリアフリーの新しいトムトムを体験していただきました。

★12月12日(日)「横浜へ行こう!」

(於)よこはまコスモワールド 参加5名

今年最後のイベント、電車に乗って出かけました。ランドマークタワーや遊園地で横浜を満喫しました。

『トムトムを体験利用してみて』

高野 幸子

11月13日(土)午前9時より午後5時まで1日トムトムで過ごさせていただきました。なかなか思い切って利用することができず、丁度その日、1日子供1人で留守番しなければならなかったので利用しました。

いつでも留守番ができるため、ついつい家においていくケースが多い我が家でしたが、今回トムトムを利用して、もう一つのお家ができたようで本人もとても喜んでいました。マンツーマンでスタッフがいるため、心強く、よくみていただけるので安心して預けられることが一番です。

また、普通の家とまったくかわりなく、アットホーム的で我が子にとっては良かったようです。今まで預けるところといたら施設しかないと思っていたようで、最初は「いや」の一声でしたが、本人が納得いくように説明したら、「いってみる」との返事だったので思い切ってお願いすることにしました。結果的にはとても喜んでくれて「また行きたい」と答えが返ってきました。もしかしたら今までにない最高の場だったのでしょうか。

いつも思うことですが、だれも一人では生きられないと思います。そのために自分一人で抱え込むことなく、みんなで共に生きていけることの大切さを獲得すればよいのではないのでしょうか。

いつになったら親離れ・子離れができるのかなといつも思っていましたが、やっとその時期がきたようでうれしい限りです。

多くの方々に助けられながら生活していくことの大切さを感じました。

今回お世話になったスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。



高野 優

土曜日はたいへんお世話になり、ありがとうございました。

ぼくは、いちばんたのしかったことはコンピューターゲームでした。2番目はカレー作りで、とてもおいしかったことです。3番目には、さんぼにあって好きな本を3冊かったことです。またトムトムにいてあそびたいです。そのときはよろしくおねがいします。

★10月～12月15日 『体験利用』 実施 利用者数25名

うち5名の方がトムトムの会員に！！



「うーん、あんまり儲かりそうもないなあ。」
電卓片手にため息をつく私を見て、「そんなに大変な思いをしてバザーなんかやるより、運営委員がちょっとずつ寄付した方が早いんじゃないの。」
夫が冷たく言い放つ。「そんなことないのっ。儲けだけじゃなくて、トムトムをみんなに知ってもらうことに意味があるのっ。」と言いつつ、心の中で「なるほど、もつともだ。」と半分以上賛同してしまっている自分が情けない。なにしろバザー係の私も高橋さんもバザーを仕切るのは初めてで、「売れ残ったらどうしよう。雨だったらどうしよう。」と不安は募るばかりである。でもここは強気で行くっきゃない。フランクフルトのおいでで客を誘い、おでんで心と体をポッカポカにし、ラムネで子供心をくすぐり、手作り品で目を楽しませ、みやげにクッキーや不用品を持ち帰ってもらおうという作戦に抜かりはないはずだ。特にクッキー、マドレーヌは清原洋菓子工房の力を借りてプロ顔負けの自信作だし、(それもそのはず清原さんがやってくれちゃったんだもん。)手作り品だって全部自分で買い占めたいくらいだ。雨雲なんて気合いで吹き飛ばそうぜ!

そして11月3日、当日。心配されていた天気もOK。ちよいと寒いがおでんにゃもってこいだ。てんやわんやの大騒ぎのうちに、ふと気がつく、我が家では絶対お目にかかれない超高級梨から「世の中にゃ、こんなもんまであったのネ。」と感心してしまった珍品まで全て売りつくしている。

「フォッ、フォッ、フォッ、思い知ったか我が夫。見よトムトムの底力を！」
果たしてその勝因やいかに。まず看板がとても可愛く目立ったこと。(上杉さんのおかげよ)食べ物から手芸品までバラエティーに富んでいたこと。値段を低くした事かな?それにしても、おでんは200円に下げたから飛ぶように売れたのか、もっと高くても良かったのか、場所は入口付近で良かったのか、もっと奥の方がベターだったのか。諸説紛々、いまだに謎に包まれている。

最後になってしまったが、お手伝いして下さったボランティアの皆さん、物品を寄付して下さった方々、清原洋菓子工房さん、本当にありがとうございました。ただ感謝感謝です。

人間うまく事ははこぶと欲が出るもので、「今度は井物にしようよ、あてくじもやろうよ」などと話が弾んでいる。私の頭は今、100人分ものご飯をいかにして調達するかでいっぱいである。



カッシーのひとりごと



先日、某研修会に参加したとき、ある施設長にお会いしました。その施設長は「ハンディのある方々が自分の住んでいるところで出来る限り暮らせるように」と頑張っている方です。でも今度その法人で入所施設をつくることになったとのこと。その理由を苦笑しながら次のように話をしてくれました。「いや、どうしてもうちの保護者が希望するんだよ。保護者ってのは、街なかの一軒家じゃ安心しないんだな。とにかくコンクリートで固めた建物でなけりゃだめなんだな」。その言葉にいろいろと考えさせられてしまいました。

「コンクリート」の中の生活ってどれほどの人が知っているんだろう。

例えば、我々の楽しみの一つに「食事」があります。その中では食事の時間は決められています。「今日はお腹がすいたから早くご飯が食べたい」といっても通用しません。また、メニューは決められています。「今日のメニューはカレーだけど、本当はラーメンが食べたい」と思っても無理です。「夕食が少なかったからちょっと外へ出て夜食を買ってきたい」とんでもないです。こんな生活です。

個人の生活というのはある意味ではかなり「アバウト」なものだと、私は思っています。しかし、それは実をいうととても大切なものなのです。しかし、その「アバウト」さは全て切り捨てられてしまいます。

そんな生活の中のどこに「安心」があるのでしょうか。あるとすれば誰のための「安心」なのでしょう。そして、「安心」があるという「幻想」を抱かせるものは一体なんなのでしょう。

その日彼は建設中の「器」を見せてくれました。彼はそれを見上げ、誰にともなくぼつりと呟きました。「本当にでかいよな」と。

(柏原 正矢/常勤)

トムトム会員のリレートーク (第1回)



「トムトムを利用して」

伊藤 久美子

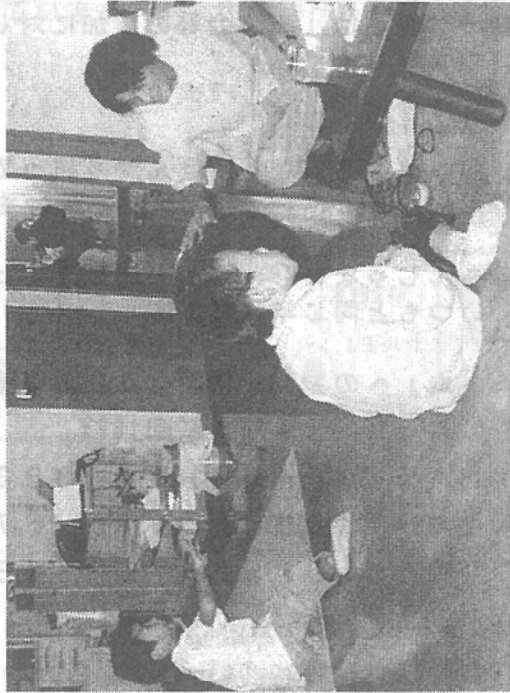
我が家には10才になる茅ヶ崎養護学校へ通う息子、大地がいます。まだ大地が小さい時は、身内や友人に助けられながら生活をしてきました。この頃はなかなか本人の動きが活発になってきたので少しの時間でも預けるのが申し訳なくなってきました。それに、上の兄弟達もちょうど学校関係などの大事な時期になりたびたび預けることが多くなりました。

そんな時に、トムトム設立の準備に少しお手伝いをさせて頂いていたので“早く本当にできるといいなあ”と心待ちにしていました。「トムトム」に登録し3カ月ほどたちますが、これまで4回ほど利用しました。

障害ある お子さん

お預かりします

理由は問わず 24時間、365日 子らのびのび



障害のある子どもや大人を預かる「パーソナルサービスセンター トムトム」(土杉桂子代表)が七月に奈良、茅ヶ崎市萩園のアパート風の二室を活動している。放課後の学校へ迎えに行き、部屋で子どもと一緒に過ごす学習クラブや希望する場所に付き添うサービス、トムトムや自宅で一緒に過ごすサービスなどがある。「二十四時間、三百六十五日、障害の種類や預ける理由を問わない」「子どもがのびのび過ごすのを重視する」のが特徴。会員の母親たちに、ふたんどは過る時間を提供している。

会員は茅ヶ崎市、平塚 人。利用者が多いと、会員市、寒川町の二十三入。会の主婦ら四人が手伍に来員の子どもらは、小学生十 入。運営方法は、委員十八人、中学生一人、高校生 入。委員の七人が会員だ。スタッフは常勤の男女各一 入。部屋は、二LDKの約八十平方

ボランテイアの青年とゲームやボールで遊ぶ。「男の子にとって男同士の遊びも大切」という茅ヶ崎市萩園で

茅ヶ崎「トムトム」

会員の悩みは利用料だ。年会費や登録料などのほか、年間の利用時間により、一時間六百円、千二百円、二千円かかる。田尻さんも月二、三方円の出費になる。

会では、三市町と藤沢市の障害児や障害者を対象に体験利用の機会を設ける。十三日のカレーパーティーは定員六人で、すでに五人が応募している。希望者が多ければ、別の日に設定するという。詳しくはトムトム(0467・58・8335)へ。

親たち共同運営

副代表の田尻順子さん(三ひは、小学三年生の長男)が肢体不自由。できるだけ地域のお子さんとかかわりを持ってほしい」と車いすで普通の小学校に通わせている。月四回ほど、トムトムの学習クラブに長男を預けている。小学二年生の長女と二人きりで話ができる。

一週間単位で昼間預かる夏休みのサマースクールに、自閉症の長女(小三)を任せ、金泰子さん(三ひは、公園で次男(三)と自転車の練習をしたり、プールに行ったりした。普段はどらしても長女が主になり、長男や次男に不満がたまりがちだという。

トムトムのスタッフ山本奈英さん(三ひは「母親といつも一緒にいとは限らない」と話す。「電車では騒ぐ」と聞かされていた小学校一年生の知的障害児と横浜のサーカスを見に行った。途中の車内でも客席でもおとなしかったという。

11月7日付 朝日新聞にトムトムが紹介されました!

*** 非常勤スタッフが新しく2名加わりました。**

小河恵理さん、角田沙弥さんです。どうぞよろしく申し上げます。

*** ボランティア急募！平日の午後、お手伝いいただけませんか？**

トムトムの利用が集中するのは、平日の放課後から夕方にかけてです。このところの会員や利用数の伸びに支援側は、うれしい悲鳴をあげながらも支援してくれるスタッフの確保が急務となっています。お知り合いなどがおられましたらよろしく申し上げます。

*** 継続して行政に支援を求めています。**

パーソナルサービスの必要性を証明するかのようにトムトムの会員が増えてきました。しかし、利用料については殆どの人が高いと感じています。現在のトムトムは会員の皆さんの利用料や賛助だけで成り立っており、トムトムを続けていくためにはこれがギリギリの額なのです。他県のように行政がこのサービスに助成してくれればと強く思います。最近も運営委員で、県の障害福祉課などに出かけ、現行の補助が受けられる制度の対象にならないかを尋ねてきました。が、現在のところ、答えは「NO」ということでした。トムトムの活動を安定させ、またより多くのハンディを持った人や家族が気軽に使えるサービスにするため、今後も色々なところへ働きかけていきます。

*** 2月初旬、常勤が研修に出かけます。**

2月4～6日の3日間滋賀県にて「アメニティフォーラム IN しが」という、近年恒例のイベント（3回目）が開催されます。これは、全国各地で地域支援サービスを立ちあげている人達が集い、シンポジウムやポスターセッションを通して情報交換をするために行われるものです。トムトムからは代表、常勤1名が参加する予定です。こういったサービスを育てていくために、各地の動きや福祉行政の方向性を知っておく事は是非とも必要といえます。トムトムの活動をさらに大きく展開していくため、利用会員の皆様には、研修会等の参加に対して今後ともご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

▼ 去年の今頃「こんなサービスがあればなあ」なんてぼんやり思っていたのに！そのサービスがトムトムという形になって、動き出し、もう半年も経っているとは・・・。1年というのは、長いような短いような・・・。（て）

▼ 2000年！減多に経験できるもんじゃないし、もっと感慨をもって迎えたかったのに・・・。まったく、いつもと同じ年末だ！！（き）



「トムトム」へのお問い合わせは、お気軽に！

〒253-0071 茅ヶ崎市萩園1624

TEL/FAX (0467) 58-8335

緊急用携帯電話 (090) 4625-5767

郵便局口座番号 10250-75536841

《名義：パーソナルセンター「トムトム」》

http://www05.u-page.so-net.ne.jp/gf6/tom_tom/